

## 防災コンソーシアム CORE 第1回全体会のパネルディスカッションに登壇しました (2024/7/25)

テーマ：防災コンソーシアム CORE 第1回全体会、パネルディスカッション登壇  
会場：赤坂インターシティ Air（東京都港区）  
URL：<https://www.bosai-core.jp/>（防災コンソーシアム CORE）

2024（令和6）年7月25日（木）、赤坂インターシティ Air で開催された防災コンソーシアム CORE の全体会において、「能登半島地震から考える民間企業の果たす役割」と題されたパネルディスカッションに、国立研究開発法人防災科学技術研究所と NTT データ株式会社からの参加者と共に、当研究所の今村文彦教授（津波工学研究分野）が登壇し、また、ファシリテーターは小野高宏特任教授（客員）（津波工学研究分野・本務先 東京海上ホールディングス株式会社）が務めました。

この防災コンソーシアム CORE は、当研究所に寄附研究部門を設けている東京海上日動火災保険株式会社が発起人となり、業界の垣根を越え、災害に負けない強靱な社会の構築を目指して、創立メンバーの14法人と共に2021年11月に発足させたもので、現在参加企業は121社（2024年7月末時点）に及んでいます。そしてコンソーシアム内で参加企業を募ってテーマを設け、防災ソリューション等の開発や事業化を検討しています。

これまでは新型コロナウイルス感染症の影響もあり、オンラインによる会合のみ開催されていましたが、今年度、初めての対面による全体会が開催され、昨年度の取り組み発表とパネルディスカッション、協業を呼び掛けるプレゼンテーション等が行われました。

パネルディスカッションでは、東日本大震災の教訓や能登半島地震の被害を振り返りつつ、実際に実施された各種対応について紹介され、また、現状残されている課題や、民間企業に期待されている役割、そして防災事業の国際展開についての議論にも及び、活発な意見交換が行われました。



パネルディスカッションで発表する  
今村教授（右端）と小野特任教授（客員）（左端）